

胆沢城跡整備後の供用開始に向けた準備を

質問 胆沢城跡外郭南門地区の整備は築地の復元、南門、櫓の表示など整備事業が進んでいる。平成31年4月の供用開始以後のイベント開催、ボランティアガイド等の計画についてを問う。

教育委員長 今後は植栽表示デジタル映像で表示する整備も進める。また供用開始に向けて埋蔵文化財調査センター、地域と連携し準備を進めていく。



整備が進む胆沢城跡【外郭南門地区】

地産地消の推進を

質問 議会が関係団体や市民との意見交換の中で、さらに地産地消を進める必要性を感じた。

地産地消の現状と今後の取り組みについて問う。



ちば まさひろ 議員(奥和会)
千葉 正文

市長 奥州市内の産直の売り上げは、28年は16億8千万円と

年々増加している。食の黄金店7店舗を認定し地元食材の拡大に努め、スタンプラリー等も実施している。学校給食には、農協と連携し地元食材利用促進を支援している。

教育委員長 学校給食における地元食材の使用割合は平成28年度で44・1%である。今後も農協、生産者団体と連携し地元食材の利用拡大に努めていく。

所有者不明土地の現状

質問 所有者不明土地の現状とそれらの活用等について問う。

市長 固定資産税納付通知不能数は79人、578筆、0・75平方キロで納税されるべき税額は167万3300円である。空地空家の管理上の問題が心配される。

農業委員会会長 登記名簿人死亡の農地(所有者不明)は2681・4haで農地の12・3%である。遊休農地の32・7%は所有者不明土地であり今後問題になると思われる。

黒石幼稚園閉園後の支援は 来年度以降も継続を

質問 市長は今年6月に「奥州市立教育・保育施設再編計画」と「学校給食施設再編計画」を決定した。これらの計画は、奥州市が子育てしやすい、未来を担う子どもたちを大切にす自治体をめざす方針に逆行するものである。市長はこの間、「これは計画でありコンクリートされたものではない。市民の意見を聞きながら変更もあり得る」との見解を表明してきた。しかし、先の議会全員協議会で、来年度から「市立黒石幼稚園」と「市立佐倉河学校給食センター」の廃止方針を明らかにした。黒石幼稚園の廃止に伴う他幼稚園等への通園に当たってのタクシーでの送迎やガソリン代の補助、園児服の購入補助を行うとのことだが、これは来年度1年限りでなく、来年度以降も継続すべきと考える。また、これらの助成は、今後再編が行われる他の教育・保育施設についても適用すべきだ。

市長 黒石幼稚園の閉園が急だったので、緊急的な措置として、現在通園している児童や来年度入園を予定している児童に対し、卒園まで通園等の支援を行うものだ。今後は全て、準備委員会のなかで合意が取れた内容で進めて行く考えである。



来年度閉園される市立黒石幼稚園

羽田幼稚園等の廃止見直しを

質問 32年度以降佐倉河・羽田・上姉体幼稚園、みなみ保育園の廃止計画だが、見直すべきだ。

市長 全体的な再編計画があるものの、地域の切実な声もあるので、そういう声を全く無視して進めていくことには抵抗感がある。丁寧に時間をかけながら、より良い方向を目指していきたい。



おいはら よしお 議員(日本共産党)
及川 善男